

## 相対的貧困対策事業に関する打合せ備忘録

【日時】 2022年10月5日（水）10時00分～11時00分  
【場所】 宮崎市役所本庁舎5階 子育て支援課  
【参加者】 宮崎市 子ども未来部 子育て支援課 子ども政策係  
主幹 高橋 理恵  
主査 蛭原 拓  
宮崎青年会議所 田所 伸吾

### 1. 宮崎青年会議所の取組み紹介

・2022年の相対的貧困認知事業の取組み（TikTok、ピクニート）を紹介した。

### 2. 宮崎市の子育て支援策について

・宮崎市の子育て支援は、令和2年に策定した「第二期 宮崎市 子ども・子育て支援プラン」に従って実施している（同プランの冊子を頂いた）。

・同プランにおける貧困対策の骨子は次のとおり。

①子どもの学びの支援の充実…子どもへの学習支援、多様な体験や学習機会の提供等

②家庭生活の支援の充実…健康支援、相談事業等

③生活基盤の確立に向けた支援の充実…保護者の自立支援、経済的支援等

④つながり・見守りの仕組みの充実…子ども食堂コーディネーターの設置等

・また、「宮崎市 子どもの未来応援基金」を創設し、子育て支援を行う各種団体との連携を図っている。同基金を利用している団体は宮崎市ウェブサイト参照。

### 3. 子育て支援団体の課題

・子育て支援団体は、主にフードバンク・子ども食堂などの食事支援系と、学習支援系の2種類ある。

・食事支援系の団体（フードバンクみやぎきなど）からは、コロナにより支援が必要な家庭は増えたが食材確保が困難になっているという課題を聞く。

・学習支援系の団体からは、子どもたちに提供できる支援プログラムが限られてしまうという課題を聞く。

→子育て支援課からも、宮崎青年会議所が連携先を探している旨を伝えておく。

### 4. その他

・子育て支援課としては、中高生の居場所がないという問題も課題として考えている。小学生までは児童クラブなど放課後の居場所があるが、中学生になると部活に入っていない生徒の放課後の居場所がない。そのため、居場所がない子がたむろする→非行に走ってしまう、

という問題があるのではないか。企業等と連携して、中学生以上の子どもの放課後の居場所  
づくりができないかと考えている。  
→青少年育成委員会につなぐ。

以上